

あたらしくはいった本 (令和6年6月 貸出開始資料から)

●小説 笑う森(荻原浩／著) 惣十郎浮世始末(木内昇／著) ドクター・デスの再臨(中山七里／著) 控えよ小十郎(佐藤巖太郎／著) ルーマーズ俗(堂場瞬一／著) 最後の甲賀忍(土橋章宏／著) 愚か者の石(河崎秋子／著) 町なか番外地(小野寺史宜／著) 六色の蛹(櫻田智也／著) オパール(桐野夏生／著) 愚道一休(木下昌輝／著) 黄昏のために(北方謙三／著) 谷から来た女(桜木紫乃／著) 復活(久間十義／著) 関心領域(マーティン・エイミス／著)

●随筆・詩などの文学 短歌を楽しむ基礎知識(上野誠／編) 「不適切」ってなんだっけ(高橋源一郎／著) 六十路通過道中(群ようこ／著) 迷子手帳(穂村弘／著) わからない(岸本佐知子／著)

●その他の本 深海世界(スーザン・ケイシー／著) 学童弁当(野上優佳子／著) 土地家屋調査士うんちく先生(加藤博永／著) 大人が楽しい紙ペンゲーム30選(すごろくや／著) 介護のことになると親子はなぜすれ違うのか(神戸貴子／著ほか) 軽量登山入門(栗山祐哉／著)

市民図書館YA(ヤングアダルト)コーナーに「進学・進路」の本を集めました



中高生向けの学校案内や勉強法、さまざまな職業に関する本を集めています。ぜひ活用してください。

みんなの としょかん



ホームページ

市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

としょかんカレンダー

令和6年	日	月	火	水	木	金	土
8					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

○印の日は、お休みです。

開館時間 午前10時から午後6時まで

金曜・土曜(祝日除く・太字の日)は午後7時まで

室町・戦国時代を通して筑後国(現・福岡県南部)に在住していた太宰府天満宮の現地トップ・留守職を務めた大鳥居氏は、太宰府が位置する筑前国(現・福岡県北西部)と筑後国の両方で、国ごとの統治担当者・守護を中心とする武家と関わりを持っていました。今回は、筑後守護・菊池氏との関係をみていきます。

15世紀半ばの大鳥居氏と菊池氏の関係は、大鳥居氏の家督をめぐる抗争に菊池が介入する形で現れます。信善・信顕・信堯の三兄弟によって争われた家督は、文安元(1444)年に信堯が継承することになったん決定します。しかし、その後も信顕との間で、数年にわたって家督争いの火種がくすぶり続けました。

それから4年後の文安5(1448)年、信顕が家督争いの経緯を説明した際に、文安元年当時、「故上様」から裁定があったと述べています。この故上様とは、菊池氏の当主であった菊池持朝のことです。筑後守護を務めた菊池持朝は、同国水田荘(現・筑後市水田)に

大鳥居氏の家督争いと菊池氏

大鳥居氏が在住していたことから、上位者として家督争いの収拾に乗り出したのでしょうか。また、信堯の家督相続が決定した直後に作成された神仏に契約の履行を誓う文書・起請文には、菊池氏の本拠・肥後国(現・熊本県)の国内最上位の神社・一宮であった阿蘇神社の名が、太宰府天満宮や筑後国一宮の高良大社とともに記載されています。ここからも、菊池氏の密接な関与がうかがえます。

太宰府の文華

～公文書館だより⑫～

この当時、北部九州地域では戦乱が続き、筑前守護に任命された経歴のある大内氏と少貳氏は、筑前国における権力基盤が不安定で、争いを裁定できなかつたと考えられます。そのため大鳥居氏は、自らが在住した筑後国の守護であった菊池氏の裁定を仰いだのです。肥後国と筑後国を権力基盤とし、本来は直接の関わりを持たない菊池氏が、天満宮領を通じて太宰府天満宮と関わりをもった例であるといえるでしょう。

元 太宰府市公文書館 児玉 良平

【バックナンバーはこちら】 ページID7241